

『リースアップ ドット JP』のリリース - 多言語対応リースアップ車両総合検索サイト -

システム・ロケーション株式会社（東京都目黒区、代表取締役社長 千村 岳彦）は、この度インターネット上から国内のリースアップ車両の大半を一括で閲覧することができるリースアップ車両の総合検索サイト『リースアップ ドット JP』（<http://www.lease-up.jp/>）を4月よりリリースしました。

『リースアップ ドット JP』は、当社ならびにオリックス自動車株式会社、日産ブラザソル株式会社（※1）のリースアップ車両情報を統合し、将来はインターネット上で1つの巨大な入札会として存在させることを目指しています。これにより、国内外の中古車業者・輸出業者がワンストップで国内のリースアップ車両の大半を検索することが可能となります。そして、リースアップ車両の大半が輸出されている現状および昨今の中古車仕向地を考慮しサイトの多言語化を実現。日本語・英語・ロシア語・スペイン語（5月中旬予定）にてリースアップ車両の査定情報の閲覧が可能となります。

従来、国内の輸出業者は、それぞれの顧客である海外の中古車バイヤーに対して自己の持つオークションサイトのIDを伝えサイトを直接閲覧させ、欲しい車両に対しての価格オファー受けるという方式を取っていました。この場合、車両の査定情報が日本語であるため個々に海外バイヤーに査定情報の説明を行う必要があるとともに、個別のオファーを取りまとめて一番高値のオファーを確定する作業が必要でした。

これに対し『リースアップ ドット JP』では、デジタル査定（※2）による多言語対応により海外バイヤーが自ら査定情報を閲覧できるようにするとともに、海外バイヤーから国内の輸出業者に対する価格オファーも同サイト上から金額入力することで自分が指定した国内バイヤーにメール文章とEXCELファイルで自動送信できるようになります。これにより国内の輸出業者は各海外バイヤーから自動送信されたメールに添付されたEXCELファイルを結合し並べ替えるだけでその車両への最高オファー価格が把握できます。

こうした機能で国内の輸出業者の利便性向上を図ることで、『リースアップ ドット JP』の海外バイヤーへの普及を促進し、より多くの価格オファーが同サイトに集まることで、関係各社の入札会マーケットがより活性化されることが期待されます。

（※1）株式会社日産フィナンシャルサービスのリース・クレジットアップ車両、並びに日産レンタカーのレンタアップ車両の入札会運営及び販売を行っている会社です。

（※2）査定をハンディターミナルからデジタル入力することにより、査定情報をデジタル化し、そのデータに対応する英訳をつけているので、従来の手書き査定では不十分だった的確な翻訳を実現しています。

以上

この件に関するお問合せは下記にお願いします

システム・ロケーション株式会社	管理部	広報・IR 担当
電話 : 03-6452-2864		
URL : http://www.slc.jp/		